

令和元年9月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書  
(通告者12名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
1	<p>1 公共交通の不満と改善について</p> <p>2 訪問入浴サービス事業の利用回数について</p> <p>3 校納金の振替手数料の負担について</p>	<p style="text-align: center;">3番 齋 浩美</p> <p>(1)名取市第五次長期総合計画の事業進捗状況では「公共バスの充実」の満足度が低い。どのようにして満足度を向上させるのか。</p> <p>(2)複数のタクシー事業者の廃業と、交通弱者の増加について、どのように捉えているのか。</p> <p>(3)なとりん号の一部路線をデマンド型乗り合いタクシーなどに変更し、本市に合わせた公共交通の最適化、再配置を行うべき。</p> <p>(1)人権や公衆衛生の観点から、週に複数回以上に改めるべき。</p> <p>(1)市内小中学校の校納金について、振替取り扱い金融機関を単一または複数としているのはそれぞれ何校か伺う。</p> <p>(2)ことし4月から振替手数料が上がったことによる保護者の反応を、どのように捉えているのか。</p> <p>(3)給食費の単価増と振替手数料増による、教育費の家計への負担は大きいと捉える。特徴ある子育て支援として、財政調整基金を活用し、振替手数料の負担低減を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p>	
2	<p>1 会計年度任用職員制度の活用について</p> <p>2 社会教育の充実について</p>	<p style="text-align: center;">12番 大沼 宗彦</p> <p>(1)会計年度任用職員制度について、本市の実施に向けた検討状況と今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>(2)会計年度任用職員制度を活用し、小中学校の35人以下学級や少人数指導の実施・拡大を進めるべき。</p> <p>(3)会計年度任用職員制度においても、再度の任用を積極的に進めるべき。</p> <p>(4)改正法による会計年度任用職員のフルタイム、パートタイム勤務の勤務時間適正化を図るべき。</p> <p>(1)市長の公約の一つである「公民館の機能充実と生涯学習の推進」について、どのように取り組んできたのか伺う。</p> <p>(2)「名取市公民館の将来像」の検討結果について、地域住民への説明会を開催するなど、市民に明らかにする機会を設けるべき。</p> <p>(3)地域に根差した公民館であり続けるため、会計年度任用職員制度施行後の公民館長の選任・採用方法について検討すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
3	<p>1 小中学校の空調設備について</p>	<p style="text-align: center;">14番 長南 良彦</p> <p>(1)小中学校15校に設置したエアコンの台数と完了日及び総事業費を伺う。</p> <p>(2)運用上のガイドラインと各学校への指示・通知はどのように行ったのか。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 交差点の歩車分離式信号機について  3 地方公務員法改正に伴う新たな区長制度について	(3) クリーンな室内環境を保持するため、冬季の暖房はエアコンを使用すべき。  (1) 市内の歩車分離式信号機の設置基数と種別及び設置までの経緯を伺う。 (2) 歩車分離式信号機交差点は看板や掲示板で告知するなど認知度を高め、事故防止に努めるべき。  (1) 改正地方公務員法により、本市において特別職非常勤職員の見直しの対象となる職は。 (2) 新制度と現行制度の大きな変更内容を伺う。 (3) 地域と行政をつなぐパイプ役とするならば、業務は自覚と誇りの持てる内容とすべき。 (4) 新制度では広報等の配布業務についてどのように検討をしているのか伺う。 (5) 来年4月の新制度導入と運用を円滑化させるため、広く住民説明会を開催し理解と浸透を図るべき。	教育長  市 長 市 長  市 長 市 長 市 長 市 長	
4	1 食品ロス削減に向けた取り組みについて  2 高齢者支援について	4番 菅原 和子  (1) 食品ロス削減のため事業者への働きかけや、市民向けにホームページに掲載するなど啓発を進めるべき。 (2) 賞味期限を迎える災害備蓄品を市内の子ども食堂やフードバンク等への寄附等を推進すべき。 (3) 家庭で眠っている食料品などを集め、フードバンクへ提供するフードドライブに取り組むべき。  (1) 長崎市では介護サービスなどではカバーできない部分を地域で支え合い、住みなれた地域で暮らし続けるための施策である「地域支え合いボランティア養成講座」を行っている。本市でも実施すべき。 (2) 諫早市では認知症になっても住みなれた場所で安心して暮らすために、元気なころから認知症ケアに必要な情報をまとめる「いさはやオレンジ手帳」を作成している。本市でも取り組むべき。 (3) 高齢者の自動車事故を防止するために、後づけの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の購入費を助成すべき。	市 長 市 長 市 長  市 長 市 長 市 長	
5	1 働き方改革への取り組みについて	1番 大泉 徳子  (1) 名取市職員における取り組みの状況を伺う。 (2) 民間企業や他自治体の手本となるような働き方改革を推し進めるべき。 (3) 働き方改革、ワークライフバランスの推進や事務の効率化等を狙いとした休み方改革、また女性活躍推進法を具体的に組み込んだ推進プログラムを策定すべき。	市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 高齢者福祉の充実について	(1)「ひとりぐらし老人等緊急通報システム」は現在、おおむね65歳以上の、病弱なひとり暮らし高齢者が対象である。条件を緩和し、持病のあるなしにかかわらず、ひとり暮らしに不安を持つ80歳以上の高齢者や、老老介護を余儀なくされている世帯にも拡充を図り、安心して暮らせる環境づくりに取り組むべき。 (2)システム利用申請時に「近隣協力員登録」制度を設け、災害発生時等に利用者の安否確認や避難行動の手助け等を行う、地域福祉の構築を図るべき。 (3)より一層の安心につながるよう、火災報知器やガス漏れ警報器による通報システムも導入すべき。	市長 市長 市長	
6	1 骨髄バンクのドナー助成制度について	7番 大友 康信 (1)骨髄移植のドナーに対する休業補償の助成制度について、現在の検討状況を伺う。 (2)すぐにでも助成制度を導入して、本年度から助成の対象とできるようにすべき。	市長 市長	
7	1 被災者の心のケアについて  2 幼児教育・保育の無償化について	16番 小野寺 美穂 (1)東日本大震災から8年半となる。復興事業も終結に向かう中で、被災者の現状、とりわけ心のケアについて、市としてどのように認識し、捉えているのか。 (2)震災後の心のケアについて、さらに重要視し、アンケート調査を行うなど、現状把握に努め、継続的な支援を行うべき。  (1)意義と課題をどう捉えているのか。 (2)制度について指摘、懸念等が出されている「待機児童の増加」「保育の質の低下」「子供の発達の悪化」「さらなる格差の拡大」「保育士不足」などについてどのような認識を持って課題を解決しようとしているのか。 (3)無償化に財源が費やされることによる、保育の質的量的拡充の停滞が起こらないよう市の責務を果たすべき。	市長 市長 市長 市長	
8	1 名取駅東西自由通路と駅前広場等の施設整備について	5番 吉田 良 (1)西口のバス停と駅舎との間に雨よけを設置すべき。 (2)行き先案内板を新しい図書館と増田公民館の位置が記載されたものに更新すべき。 (3)バスを待つ人に危険が及ばないよう、自転車走路を整備すべき。 (4)視覚障がい者の混乱を招かないよう、西口における点字ブロックの敷設進路を適正化すべき。 (5)駐車料金を1時間200円から30分100円に改めるとともに、30分以内の利用は無料であることを目立つように示し、道路上に駐車しないよう注意喚起すべき。	市長 市長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 一般家庭用除草剤の危険性について	<p>(6) 西口駐輪場を利用する自動二輪車に歩道を走行させないための対策をとるべき。</p> <p>(7) 空き缶等回収容器に一般ごみが投入されている。ごみ箱を設置すべき。</p> <p>(1) 市が管理する施設における除草剤の使用状況と、使用されている除草剤の品名を伺う。</p> <p>(2) 学校や児童センター、保育所、公園など、子供が活動する公共施設において除草剤を使用しないことを明文化すべき。</p> <p>(3) 管理を外部に委ねている施設における除草剤の使用制限について指針を設けるべき。</p> <p>(4) 除草剤の使用による健康や環境へのリスクを市民に周知すべき。</p> <p>(5) グリホサートを含有する一般家庭用除草剤の市内での売買及び使用を条例で規制すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長 教育長 市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p> <p>市 長</p>	
9	1 交流人口の拡大について	<p style="text-align: center;">19番 山田 龍太郎</p> <p>(1) 交流人口をふやすため、県内外の団体等のグループがクラブ・サークル・ゼミナール活動を行うための合宿拠点施設を整備すべき。</p> <p>(2) 合宿の目的に合わせて、市内にある公共施設（スポーツ施設・文化施設・公民館等）を利活用できるよう開放すべき。</p> <p>(3) 合宿誘致活動を積極的に進めるべき。</p> <p>(4) 旧名取スポーツパーク、またヨットハーバー等の利用で相乗効果を出していくべき。</p> <p>(5) 海浜エリアの整備に合わせて、観光ルート・地場産品・食を観光に結びつけ、交流人口の拡大を図るべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長 市 長</p> <p>市 長</p>	
10	1 地球温暖化対策について  2 再生可能エネルギー等の推進について	<p style="text-align: center;">20番 菊地 忍</p> <p>(1) 「名取市温室効果ガスの排出抑制等のための実行計画」の数値目標に対し未達成の項目が多い。達成に向けた取り組みを強化すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 市の施設の電力供給について環境配慮契約を導入すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 家庭でできる地球温暖化対策についてホームページに掲載するなど周知に取り組んでいる自治体が多い。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 県の計画では再生可能エネルギー等による電力自給率を2013年の4.6パーセントから2030年は25.3パーセントとする目標を設定している。市町村には地域の特性に応じた対策の実施が求められているが、本市の取り組みは。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
		(2) 県内では半数以上の自治体が住宅に再生可能エネルギー・省エネルギー設備等を導入する場合に補助金を交付している。本市でも取り組むべきと考えるがどうか。	市 長	
1 1	1 プラスチックごみ対策について  2 ペーパーレス化への取り組みについて	2 番 大久保 主計  (1)特に海洋プラスチックごみについて、どのように認識しているか。 (2) 今後は、第二次名取市環境基本計画も含めどのように取り組むのか。 (3)環境教育ではどのように捉えて、取り組んでいるのか。 (4)「プラスチック・スマート」フォーラムに参加して、積極的に取り組むべき。  (1)行政事務における紙類のリサイクル率はいくらか。 (2)本市におけるこれまでの取り組みとこれからの考え方について伺う。 (3)行政事務のペーパーレス化を計画的に取り組むべき。	市 長  市 長  教育長  市 長  市 長  市 長  市 長	
1 2	1 都市計画道路について  2 名取市公共施設等総合管理計画と老朽化施設対策について	9 番 佐々木 哲男  (1)現在発注済みの都市計画道路の進捗状況について伺う。 (2)本年度（令和元年度）中に、見直し案を公表・決定するとした長期未着手都市計画道路見直しについて経緯と方向性を伺う。 (3)昨年度策定の都市計画マスタープランの地域別構想との整合性を検証し、関係する地域住民に対し説明会を開催すべき。  (1)公共施設等の情報を管理・集約、公共施設総合管理計画及び、個別施設計画の進捗管理を行うとする「名取市公共施設等総合管理計画策定委員会」の組織、協議事項及び実施状況を伺う。 (2)老朽化が進行する公共施設が多い中、耐用年数による改築（建てかえ）も視野に入れた中長期的な検討について協議しているのか伺う。 (3)昭和50年10月に建築され44年が経過し、今後老朽化の進行が懸念される市庁舎の現状をどのように捉えているか伺う。 (4)上位計画である長期総合計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画等を整理し、庁内及び市民による「新庁舎建設検討委員会」の設置等を検討すべき。	市 長  市 長  市 長  市 長  市 長  市 長  市 長	